

I 調査の概要

【調査の目的】

「セーフコミュニティ」の取組を進めるにあたって、区民の求める安全・安心の取組に対するニーズを把握するとともに、現在行っている取組を評価するための指標として使用し、取組の質の向上を図る。

【調査対象】

栄区内に居住する20歳以上の男女1,500人

【抽出方法】

住民基本台帳からの無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査期間】

令和2年11月4日（水）～11月25日（水）

【回収数】

755件（回収率50.3%）

【集計結果の見方】

1. 図（グラフ）の中で使用されている「n=〇〇」は、その設問に対する回答者数をあらわす。
2. 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
3. 項目をまとめてひとつのカテゴリにする場合（例えば問1など）、各回答項目の回答者数の合計を基数として%を算出している。各回答項目は小数点第2位以下を四捨五入しているため、回答項目の%の合計と一致しない場合がある。
4. 集計結果の表やグラフは、コンピューター入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合がある。
5. 回答数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。